

リニアで南アルプスを壊さないで

登山者によるアピール・賛同のお願い

以下のアピール文に対する賛同を集めています。ご賛同いただける方は下部に必要事項を明記の上切り離し、集約先まで郵送・FAX・メール等でお送りください。いただいたお名前は集約の上、リーフレット・ポスター・インターネット（期間限定）等で公表し広報します。個人情報 は 目的の活動以外に使用しません。

「リニアで南アルプスを壊さないで」登山者アピール実行委員会

〒146-0082 東京都大田区池上5-7-5（治療院「結」気付）

T・F03-3752-4717 メール tozansyarinia@gmail.com

私たちは南アルプスを愛する登山者です。

13の3000mのピークが連なる南アルプスは、日本を代表する山脈です。その重厚さと山深さゆえに、自立した登山者を育ててきました。南アルプスを経て、今も多くの登山者がより高く遠い峰々を目指しています。山脈南部は道路や送電線など横断する人工物のない、国内でも希少な地域です。その豊かな自然を享受してきたのは、私たち登山者です。

JR東海が建設を進めるリニア中央新幹線は、その南アルプスを東西に貫きます。人命を危険にさらす難工事は、同時に動植物の生息環境をも危険にさらします。トンネル建設で大井川をはじめとした周辺河川が干上がり、排出される膨大な残土で谷は埋まり、赤石岳を望む美しい景観は、橋梁や鉄塔・送電線で台無しになります。10年以上の工事で、ふもとの村々や登山口は一大工事プラントに変貌します。工事で人のつながりや生活環境が壊され、自然を活かした地域づくりが損なわれます。工事車両の通過のために、道路の大幅な改修が行なわれ、新たなトンネルが掘られます。排出土は河川敷を埋めて、下流域の住民生活を危険にさらし、環境汚染を招きかねません。しかも工事はいつ終わるともわかりません。変わり果てた南アルプスを目指して、私たちは登山をするのでしょうか。

片道1時間で東京と大阪が行き来できることと、南アルプスの価値は引き換えにできません。これ以上の速さと開発はたくさんです。

私たちは、リニア中央新幹線に関する、すべての工事の即時中止を求めます。この手つかずの自然を、私たち登山者は後の世代に引き継ぐ責任があります。

■呼びかけ人 猪熊隆之（ヤマテン、気象予報士）・岩崎元郎（無名山塾、登山ガイド）・大島康弘（日本山岳会静岡支部長）・掛川義孝（聖平小屋、登山ガイド）・斉藤一男（日本山岳協会元会長）・志水哲也（写真家、山岳ガイド）・白鳥勝治（清水山岳会、日本山岳会静岡支部自然保護委員）・瀬畑雄三（溪の翁、源流釣り師）・高桑信一（作家）・竹本幸造（静岡県勤労者山岳連盟理事長）・田中裕之（ぶなの会代表）・寺沢玲子（同人パハール）・成瀬陽一（海外溯行同人、渓谷探検家）・西本武志（日本勤労者山岳連盟会長）・橋本利治（山岳会登研代表）・服部隆（南アルプスとリニアを考える市民ネットワーク静岡共同代表）・服部文祥（作家、サバイバル登山家）・前島久美（大鹿の100年先を育む会）・増本亮（クライミングファイト、クライマー）・松永義夫（静岡市山岳連盟会長）・馬目弘仁（信州大学学士山岳会、クライマー）・三宅岳（写真家）・山田哲哉（風の谷、リニア新幹線を考える登山者の会）・吉木真一（金峰山小屋主人）

----- 切り取り -----

お名前*（公表、仮名も可） _____ ふりがな* _____

団体・個人*（いずれかに○） 肩書（公表、所属団体・お仕事等） _____

連絡先* _____（非公表、電話かメール。記載事項の確認のため）

住所* 〒 _____

*は必須

（非公表）